



## 日本だけにある十二支とは…

東京で2回目のオリンピックが開催される2020年は、日本にとって大きな節目となります。また、来年は「子年」。新しい十二支のサイクルがスタートする年です。そもそも十二支とは何でしょうか…。

### 十二支とは



ねー、うし、とら、うー…う～ん。十二支を全部言えますか？  
十二支とは「子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥」の総称です。日本では「私はねずみ年生まれです」など、年齢をやりわりお伝えするものとして用いられていますが、かつては月や時刻、方角といったものまで十二支を使って表現していました。

よく怪談などで「草木も眠る丑三つ時（うしみつどき）」という決まり文句が出てきます。この「丑三つ時」は「丑の刻」を4等分した3番目の時刻、つまり「午前2時から2時30分」となります。

昔、1日を日の出、日没で昼夜を二分し、それぞれを6等分して合計12の時間帯に分け、24時制の23時から1時までに当たる時間帯を「子」。以下1時から3時、3時から5時、……の順に並ぶ2時間毎に、それぞれ丑、寅、卯、辰、巳…の十二支名を振り当てて表したそうです。午の刻は24時制の11時から13時に当たり、正午はこの時間帯の中央、つまり真昼の12時。その前後を「午前」「午後」と呼ぶのも十二支を使っていた名残なんだそうです。



### 一周回って「還暦」

還暦とは、60年で干支が一回りして再び生まれた年の干支にかえることから、元の暦に戻るという意味でこのように呼ばれているんですね。干支とは十干（じっかん）と十二支（じゅうにし）を組み合わせて形成されています。干支（えと）の「支」は「十二支」のこと。

干支（えと）の「干」は「十干」のことで、甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸の十種類があります。この二つの組み合わせが60種類あることから、生まれた年の干支から60年で一巡りして生まれた年の干支に戻る。暦が還る＝還暦となり、新たな生へ生まれ直すという意味でお祝いするのです。

来年の干支は「庚子（かのえ・ね）」です。干支の組み合わせでは37番目になるそうです。

### 漢字と動物は無関係

十二支の漢字を見ると、なぜか今の動物の漢字と違うのはなぜなのでしょう？

- |        |          |
|--------|----------|
| 子(ね)   | →鼠(ねずみ)  |
| 丑(うし)  | →牛(うし)   |
| 寅(とら)  | →虎(とら)   |
| 卯(う)   | →兎(うさぎ)  |
| 辰(たつ)  | →龍(りゅう)  |
| 巳(み)   | →蛇(へび)   |
| 午(うま)  | →馬(うま)   |
| 未(ひつじ) | →羊(ひつじ)  |
| 申(さる)  | →猿(さる)   |
| 酉(とり)  | →鶏(にわとり) |
| 戌(いぬ)  | →犬(いぬ)   |
| 亥(い)   | →猪(いのしし) |

ことごとく違いますね。調べてみると、それもそれは十二支の漢字（子、丑、寅…）には元々動物の意味は無いそうです。ただの順序や方角を示す符号でしかなかったそうです。

しかしそれでは、覚えにくいということで、動物を関連づけて覚えやすくしたそうです。

### イ/シシは日本だけ？

動物の関連づけをしたからなのかは分かりませんが、十二支はさまざまな国へ伝わりました。ただし、各国では動物が微妙に違うようです。ベトナムではウシが水牛に、羊が山羊にさらには、ウサギがネコに取って代わる。アラビアの干支では、辰がワニに。

など、国によって連想しやすい動物が違ったのかもしれませんが。その他に十二支は、台湾、韓国、チベット、タイ、ロシア、モンゴル、ベラルーシなどの国で使われているそうです。

因みに今年「いのしし年」でしたが、いのししは日本だけのようですよ。本場中国では「ぶた」なんです。その他の国でも「ぶた」なんですって。

## 漢 → 字 → し → り → と → り → 迷 → 路

挑戦してみよう！

11月号こたえ

スタート

落	葉	樹	断	大
灰	山	脂	油	敵
白	火	花	視	対
質	正	香	線	午
疑	問	視	野	外

ゴール

スタートからゴールまで熟語のしりとりで移動する迷路ゲームです。正しいルートでゴールまでたどり着くと、通らなかったパネルが出てきます。この余りのパネルの漢字をつなぎ合わせてできる熟語が「答え」になります。

半	形	図	別	行
生	地	鑑	識	動
改	種	品	物	植
良	以	嚴	正	統
性	別	莊	前	派

例題では「以」と「前」のパネルが余るので、「以前」が答えとなります。

感	度	高	氣	密
中	胸	上	方	会
身	販	売	交	社
元	量	確	的	夕
本	音	定	時	節

こたえ

夕方

感度→度胸→胸中→中身→身元→元本→本音→音量→量販→販売→売上高→高氣密→密会→会社→社交的→的確→確定→定時→時節

— 漢字しりとり迷路 応募方法 —

- ①名前
- ②住所
- ③電話番号
- ④「かとけん通信」の中で興味があった記事、ご意見、ご感想など。
- ⑤答えをご記入の上 FAX かメールにてご応募下さい。

FAX 22-2133 ☒hirose@kato-const.jp ハガキやお電話でもOKです！

# かんたんレシピ



- ❖ 材料 ❖ (2人分)
- 豆腐 1丁 (300g)
  - ★ ツナ 1缶
  - ★ マヨネーズ 大さじ3
  - ★ 醤油 大さじ1
  - ★ コショウ 少々
  - ピザ用チーズ 70g

# 豆腐グラタン

- ① 豆腐はしっかりと水切りしておく。  
時間がなければ、電子レンジで豆腐をキッチンペーパー2枚で包み、耐熱皿にのせてラップをし、600Wの電子レンジで3分ほど加熱する。火傷に気を付けてください。
- ② グラタン皿に8等分くらいに切った①を入れる。
- ③ ボウルに★を入れ混ぜる。
- ④ ②に③をかけ、ピザ用チーズを乗せてオーブントースターで5分ほど焼きチーズに焼き色がついたら完成です。

**ブロッコリーと一緒に混ぜて焼くと、なおよし！**



## 「めぐみ」のつぶやき...



信心のある人もあまりない人もだいたいの人が初詣などで神社に行かれますね。わたしは年に何社か行きます。行くとどこか安心し不安が少し無くなるような気持ちになります。少し遠いけど行ってみたい神社があります。先日ブラタモリでしていた岡山の吉備津神社です。数年前山口県にいる息子のとこに行く時岡山の吉備サービスエリアで知りました。釜の鳴る音で吉備を鳴る鳴釜の神事。また桃太郎伝説のモデルでもあり。全長360mにも及ぶ長い回廊が見事だそうです。来年こそは思っています。お近くで良かった神社は丹後峰山の金比羅神社でした。日本唯一とも言われる大変珍しい柏猫があります。丹後の町は産物の町です。農家は絹を生産する養蚕で営みその大敵はぬいひびきとこ桶の登場です。とこの信仰により漆細工のたこひびき本殿までの参拝道も階段は多いので小さい社が良しとありよい神社でした。来年は子年なので微妙ですが、もろろ私の自宅の近所の徳重神社には月に何回か参拝しています。今年も紅葉が美しいので秋は参拝する回数が増えました。

## 社長よりひとこと

今年も「かとけん通信」をお読みいただきありがとうございます。師走に入り世の中が急にバタバタしてきました。すぐ年末だ正月だと追いついてくれるみたいですが、今のところは昨年同様雪も降らないですが、暖冬と言うわけには寒さが続いています。2019年が終わり、もうすぐ2020年です。21世紀は子どもの頃未来の世界と思っていたのがもう19年前のことです。なんがうそみたつに早く過ぎました。自分がそれだけ歳をとったと言うことを実感させられます。残りがない2019年と最後まで全力でがんばりたいと思います。みなさま一年おがらうございました。良いお年をお迎えください。

加藤 洋



都市ガスリフォーム  
専門店

# か とけんホーム

〒620-0042 福知山市北本町二区30-1 加藤建設(株)



ホームページ

社長ブログ

0120-24-1900

か とけんホーム

かも社長

検索

検索

